

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月14日更新

事務事業名		登録統計調査員確保対策事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	
	施策	14 市民参画によるまちづくりの推進				所属課	企画課	
	基本事業	41 地域づくり(まちづくり)人材の育成				所属班	政策企画班	
課長名						担当者名	中村 誓丞	
予算科目	会計一般	款2	項5	目2	事業連番11056	法令根拠	合志市統計調査員登録要綱	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				
							成果優先度評価結果	: ①
							コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	基幹統計をはじめとした、各種統計調査を実施するため、合志市統計調査員登録要綱に基づき、統計調査員として予め登録を行ない、必要数を確保するための各種事務である。 平成23年3月末現在、合志市内で58名が登録されている。合併により人口5万人以上の市となったことにより、総務省の「統計調査員確保対策事業委託要綱」に基づき、この事業を受託している。また統計調査員の確保が困難になってきたため、従来の2町のやり方を見直し、合志市統計調査員登録要綱を策定し、平成18年度から確保対策事業を行なっている。統計調査員として登録されても調査の種類によっては辞退されることがあり、調査員確保はますます困難になってきている。
【業務の流れ】	・調査員募集にかかる広報活動(市広報紙、ホームページ) ・登録調査員の統計調査への理解促進のための研修
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	・広報活動、新規の登録調査員への研修	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		・広報活動、新規の登録調査員への研修
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 広報回数	回	・県からの交付額の増
→ イ: 研修回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・20歳以上65歳以下の市民		(単位)
		→ ア: 生産年齢人口
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・合志市統計調査員登録要綱に基づき登録してもらう。		(単位)
		→ ア: 新規の登録数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・調査員が確保できたかを把握するため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア	回	13	13	13	13	13	13	13	13	
	イ	回	1	1	1	4	1	1	1	1	
②対象指標	ア	人	34,324	34,605	32,000	35,062	32,000	32,000	32,000	32,000	
	イ										
③成果指標	ア	人	15	12	10	4	10	10	10	10	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	8	16	16	14	14	16	16	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円				1				
	一般財源	千円									
人件費	(A)事業費計	千円	8	16	16	15	14	16	16	16	
	(A)のうち指定経費	千円	8	0	0	0	0	16	16	16	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	1	2	1	3	1	1	1	1	
延べ業務時間	時間	100	161	120	161	120	120	120	120		
(B)人件費計	千円	398	663	494	650	494	494	494	494		
トータルコスト(A)+(B)	千円	406	679	510	665	508	510	510	510		

事務事業名	登録統計調査員確保対策事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 調査環境の悪化からか、登録を希望する市民が少なかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 調査環境はますます悪化してきており、調査員として従事してくれる人が減少しているため。 新規の調査員も調査活動を経験したことで、登録を辞退する人が出てきている。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 市ホームページには常時募集広告を掲載しているが効果がないため、広報紙への掲載回数を増やし新たな調査員の確保を目指す。また、研修回数を増やし、調査員の統計調査に対する理解を深める予定である。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒ 調査員は非常勤の公務員であるため、市が募集すべきである。また、市のその他の非常勤職員とは性質が異なるため、類似の事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 県から交付された必要経費の範囲で事業を行なっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の人数で、可能な限り効率的な業務を行なっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 全市民に向けた事業であり、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 役割分担は適さない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>調査環境の悪化により調査員のなり手が減少している厳しい現状があり、今後も調査員確保は難しいと考えるが、広報の回数を増やし、新たな調査員を確保しなければならない。 また、調査員の質の低下も危惧されており、熊本県が実施する調査員研修に派遣するなど、質の向上も図る。</p>
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						